

NPO KEEP LEFT 事務局からのメールマガジン第7号です。

すいません。前号で今回は、不法駐輪に関して発信しますとお知らせしましたが、原稿を書いているうちに以下の様な内容になりました。

「不法駐輪」に関しては、取材を終えてから発信致します。
あしからず、ご了承をお願いいたします。

***メールマガジン No.7 - 08.6.5 ***

NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.7

自転車愛好家の皆様へ

自転車愛好家の皆さん、心地良く自転車を利用されていますか？

当然、それぞれの趣味趣向で、自転車を漕ぎ、自転車を眺め、自転車を磨き、人生のパートナーとしての自転車と接しておられると思いますが・・・

街を走ると、信号無視の歩行者や自転車、右側通行の自転車、不法駐輪の自転車、歩行者に対しベルを鳴らす自転車、商店街の混んだ所を我が物顔で走る自転車、等々。

道路を走ると、駐車違反の車、そしてクラクションであおり、中には幅寄せまでする車やバイク、等々。

公園の中や河川敷の自転車専用道を走ると、横に並んで道をふさぐ歩行者、リードを延ばし犬と一緒に通せんぼをする飼い主、好き勝手に走る市民ランナー、等々。書ききれない程の難儀事があります。

心地良く自転車を利用出来る場所がありますか？

安全に、安心して、快適に自転車が利用出来る道や道路がありますか？

皆さんの地域の自転車を取り巻く社会環境は如何ですか？

多分、自転車愛好家の皆さんは、都心から遠くはなれた交通量の少ない道や整備された自転車専用道等を走られておられると思います。

日本は法治国家でしょうか？

道路交通法で「軽車両」と位置づけされる自転車の現状はどうでしょうか？

日本は自転車の放置国家、そして自分勝手な連中が住む呆恥国家*です。

* 呆恥【ほうち】(呆 = おろかなこと、恥 = はじ)勝手に創った俗語です

* 呆恥国家【ほうちこっか】おろかで、恥知らず達が住む国

特に大阪には、「大阪のおばチャリ」●と称されるとんでもない連中がたくさん居ます。自転車とは評し難い自転車の形をした乗り物◆に乗り、勝手気ままに自転車を利用し、停めたい所に自転車を止め、道路交通法無視、マナー無し、公

共心無しの、連中です。

●「大阪のおばチャリ」とは、性別・年齢には関係なくルールを守らないマナーの悪い自転車利用者の総称として使用しています。

◆自転車とは評し難い自転車の形をした乗り物 とは、自転車として十分な強度や性能を持ち合わせない、整備もしていない、自転車の形をしたものの事です。

大阪は、「大阪のおばチャリ」のワンダーランドです。

大阪で、心地良く自転車を利用する事は、大変困難な事です。

大阪では、安全に安心して快適に自転車を利用する事は、不可能な事でしょうか？

皆さんの走る地域は如何ですか？ 北海道在住の方は、走る場所が沢山あるとの事ですが、事故も多いとも聞いてます。京都に在住の方は、良い山岳コースがあるけど、最近では自転車がなくて・・・との事です。

しかし、自転車は楽しい。自転車は、健康維持にもってこい。自転車は、環境問題の解決策です。

大阪だけでなく、全国の自転車愛好家の皆さん！ 自転車の社会的地位向上と自転車の安全、安心、快適な利用を目指し、声を上げませんか？ 行動を起こしませんか？

我々 特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT は、自転車の社会的地位向上と自転車の安全、安心、快適な利用を目指し活動する NPO 法人です。

自転車を利用する我々が、正しい自転車の利用を自ら示し、ルール・マナーを守らない人や自転車利用者、自動車の運転者達 すべての道路利用者に道路交通法の遵守やマナー向上をアピールし、御上に対し自転車の地位向上につながる道路行政や交通安全政策を行なう様に働きかけ、自転車業界の各企業、団体へ「安全、安心、快適な自転車」の製造及び販売を働きかけするのが、当法人の目的です。

ルール・マナーを守らない自転車利用者が最も多い大阪、最悪最低な自転車環境の大阪から「自転車の安全、安心、快適な利用」を全国に発信します。

皆さん、特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT にご参加下さい。

NPO KEEP LEFT の会員募集中です。

会員の登録、メールマガジン（無料）の購読申込は、ホームページから簡単に出来ます。また、当法人の案内、会員の登録フォーム等の郵送サービスも行なっています。

よろしく申し上げます。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

NPO KEEP LEFT 事務局からのメールマガジン第8号です。

***メールマガジン No.8 - 08.6.10 ***

NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.8

お知らせです。

NPO KEEP LEFT が作成した小冊子「NPO KEEP LEFT」NPO 法人の案内、入会勧誘パンフレット と 小冊子「NPO KEEP LEFT 知らなかったでは、済まされない自転車のルール & 当然、守らなければならない自転車のマナー」が完成しました。どちらも第一版 各 3,000 部印刷しました。

小冊子「NPO KEEP LEFT」は、NPO 法人の案内、入会勧誘パンフレットとして自転車利用者に無料配布致します。

小冊子「NPO KEEP LEFT 知らなかったでは、済まされない自転車のルール & 当然、守らなければならない自転車のマナー」は、正会員、賛助会員、ボランティア会員の方々に配布し、必要と思われる自転車利用者の方々へ配布して頂きます。

現在、小冊子「NPO KEEP LEFT 安全に、安心して、快適な自転車利用」を製作中です。

この小冊子は、NPO 法人の案内、勧誘パンフレットと同様に、自転車利用者、道路利用者の皆さんへ無料配布致します。

各小冊子を会員の皆様へお届け出来るのは、本年 6 月 15 日の第一回総会にて承認後となりますので、しばらくお待ち下さい。

尚、等 NPO 法人が発行を予定しています小冊子は以下の通りです。

●「知らなかったでは、済まされない自転車のルール & 当然、守らなければならない自転車のマナー」

*発行済

●「安全に、安心して、快適な自転車利用」*現在製作ほぼ終了、近日中に発行予定

●「目的に合った自転車選び」*現在製作中、本年 7 月中に発行予定

●「自転車の正しい乗り方」*現在製作中、本年 8 月までに発行予定

●「年齢や体力に見合った自転車の利用法」*現在製作中、本年 9 月までに発行予定 整形外科及びスポーツ病理学系のお医者様にコンタクト中

●「自転車の維持管理・メンテナンス」*現在製作中、本年 8 月までに発行予定

●「自転車を取り巻く社会環境」*発行未定

◎「クリーン & ライド キャンペーン・自転車で地域起こし」*この小冊子に関しては、等法人の総会、理事会において検討後、リリースの時期、内容を決定致します。

上記の内容や上記以外のテーマ等、皆様のご要望やご指摘がございましたら、当 NPO 法人事務局まで連絡をお願い致します。

現在、当法人の顧問（無償契約）として、弁護士さん、司法書士さん、公認会計士さん、弁理士さん、ファイナンシャルプランナー（保険代理店）さん等、それぞれの専門分野の方々と顧問契約（当法人の

活動に対し各分野からアドバイスを頂く)を結びつつあります。現在、医療関係の方の候補者がおられません。何方か、自転車が大好きな医療関係の方をご紹介頂けませんか？

よろしく願いいたします。

補足です、自転車業界関係者の方々や行政側の方々の入会及び顧問就任に関してですが、当NPO法人の賛助会員の中には、自転車業界関係者もおられます。当然、会員や顧問として活動をお願いしていますが、NPO法人の運営上、特定の個人や企業・団体の利害に関与する事は極力避けたいと考えます。当NPO法人の趣旨、活動目的に則したものであれば、自転車業界関係者の方々や行政側の方々の参加、賛助は、逆にこちらからお願いしたい次第です。(メールでの問い合わせがありましたので、メルマガにてお返事まで)

反省：毎々、小生が書く文章が過激すぎるのか・・・？ 御上に楯つく人間と思われているのか・・・？
行政に携わる方々を、我々のNPO活動から排除する様な発信をしている印象を与えたのであれば、少々反省します。

常々、正論と信ずる事を発信しているつもりですが、悪い印象を与えるのは良くない事です。
内容は、変えませんが、表現の仕方を変えて行きます。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

NPO KEEP LEFT 事務局からのメールマガジン第9号です。

***メールマガジン No.9 - 08.6.16 ***

NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.9

ご報告です。

昨日、NPO KEEP LEFT サロンにて、第一回総会無事に終了致しました。

第一号議案 「定款の変更」 は承認されました。

活動報告、検討事案等は、理事会一任となりましたので、後日メールにて発表致します。

当日出席頂きました正会員の皆様、各理事の方には、お忙しい折、また遠方よりお越しくださり、深く感謝致します。

ご苦労様でした。

有難うございました。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT 理事長 佐原 純一郎

NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.9

先日、ある自転車屋さんへ当法人の活動で寄った折、その自転車屋さんに事故に遭った自転車の修理見積依頼で、首に包帯を巻いた若者（大学生さん）が訪れていました。少しお話を聞くと、信号無視の自転車にぶつけられたとの事でした。

自転車の損傷は、フロントフォーク（カーボン）にヒビが入っており、取り替えなければならない状態。本人さんは、「首の骨が折れていてもおかしくない状態、よく命があったものだ」*お医者さんのコメントの状態でした。

先ずは、命があった事に安堵です。

警察へ事故の発生を報告したとの事に、安堵。

ぱっくり割れたヘルメットをながめ、ヘルメットの大切さを痛感し、再度、命が助かった事に安堵。

しかし、怪我の後遺障害が心配です。

そして、事故を起こした加害者が、自転車事故をカバーする保険に入っているか否かが、心配です。

被害者も加害者も共に若者との事ですので、治療費や修理費（損害賠償）の交渉がスムーズに行くかも心配です。

両方の親御さんが、良識や常識そして自転車に関する正しい認識をお持ちである事を、願う限りです。

我々NPO 法人の活動は、「安全に、安心な、快適な自転車利用」が主たる目的です。

前記の様な事故をなくすのが、われわれの使命です。

自転車利用者の皆さんが、万が一、事故を起こしたり、事故に遭った時に、適切な処置や対処を行ない、そして責任を果たす事が、われわれの望みです。

会員の皆さんへ配布予定の各パンフレット

●「知らなかったでは、済まされない自転車のルール & 当然、守らなければならない自転車のマナー」

*発行済

●「安全に、安心して、快適な自転車利用」*現在製作ほぼ終了、近日中に発行予定 *6月16日 会員さん

へ配布開始

●「目的に合った自転車選び」*現在製作中、本年7月中に発行予定

●「自転車の正しい乗り方」*現在製作中、本年8月までに発行予定

●「年齢や体力に見合った自転車の利用法」*現在製作中、本年9月までに発行予定 整形外科及びスポーツ病理学系のお医者様にコンタクト中

●「自転車の維持管理・メンテナンス」*現在製作中、本年8月までに発行予定

●「自転車を取り巻く社会環境」*発行未定

◎「クリーン & ライド キャンペーン・自転車で地域起こし」*この小冊子に関しては、等法人の総会、理事会において検討後、リリースの時期、内容を決定致します。

の発行予定ですが、急遽予定を変更します。

●「自転車を取り巻く社会環境」*発行未定の内容を一部変更し、小冊子「自転車の事故を防ぐには、自転車の事故に遭った時には、自転車の事故を起こした時には」の発行を最優先に致します。

そして、当法人が窓口で紹介する自転車総合保険の整備、導入、発表を最優先と致します。

*先日の、総会の席上、上記の小冊子発行予定変更は、満場一致で賛同頂きました。

ご意見、ご希望等お寄せ下さい。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎